

「産業用チェーン」製品分類別基準（PCR番号:BZ-01）

この基準はエコリーフプログラム実施用に作成されたものです。事務局の承諾無く、本内容を他の目的に使用することを禁止致します。

No	大項目	中項目	小項目	取り決め事項
1	PCR 設定の前提	製品	定義	<p>原動機の動力を作業機械に仲介伝動する目的及び物体を搬送する目的で使用されるチェーンを総称して「産業用チェーン」と呼び、以下の要素で構成される。</p> <p>金属製は、プレート・ブシュ・ローラ・ピン4部品を基本構成要素とするが、使用用途により、その他付属部品(オフセット他)を含む。</p> <p>樹脂製は、リンク・ピン</p>
			範囲	<p>最小販売単位に含まれる本体。製品機能に必要な付属部品。梱包包装材。負荷計上は、長さ3,048mm(1ユニット)を単位とする。</p>
		ステージ	範囲	<p>基本的には、全ライフサイクルステージとする。</p> <p>ただし、使用ステージは対象外とする。</p>
4	製品データ シート (LCI入力 データ)	製造ステージ 情報 (製品情報)	製品材料 又は、 原料構成	<ol style="list-style-type: none"> 部品等A扱いの部材 金属製は4部品:プレート・ブシュ・ローラ・ピン(付属部品含む)、樹脂製は2部品:リンク・ピンを部品等A扱いの部材と規定し、フォアグラウンドデータを使用する。 製品データシートに記載する材料分類名 普通鋼、ステンレス鋼、熱延鋼板・鋼帯、電炉鋼線・棒鋼、その他金属、ポリアセタル樹脂、ポリアミド樹脂とし、以外は使用するエコリーフ原単位の名称を記録する。 資源投入量は、歩留りを考慮した材料質量とする。 オープンリサイクル/リユースを含む場合 次の項目に注意して各社で妥当と判断されるシナリオを設定して計上できる。なお設定の根拠の妥当性は検証の対象となる。 (1)「間接影響」範囲とする工程 (2)「間接影響」範囲内の排除・負荷
			投入消費 排出される 物質とエネル ギー	<ol style="list-style-type: none"> 投入物質及びエネルギー 対象製品製造のために製造サイトで投入される物質及びエネルギー <ul style="list-style-type: none"> 電力、A重油、軽油、灯油、ガソリン、都市ガス、LPG、ブタンガス 都市用水、工業用水、地下水 加工油、潤滑油、焼入れ油、防錆油 排出項目 対象製品製造に伴って製造サイトから排出される物質。 製造工程間輸送負荷 製造サイト間で輸送過程がある場合は、各社の実績に基づいた輸送距離、手段、積載効率で計上する。 副産物・副資材等 金型の製造・整備・廃棄にかかる負担分は計上する。 副産物、副資材は、計上しない。
6	物流ステージ 情報	製品の輸送 条件	製品の輸送 条件	<ol style="list-style-type: none"> ユーザーまでの輸送 距離、手段、積載率は、申請各社が設定するモデルに基づく。 海外から国内への輸送負荷 製造サイトからの陸上及び海上輸送負荷を計上する。
			使用ステージ 情報	製品の使用 条件

No	大項目	中項目	小項目	取り決め事項
8	製品 データシート (LCI 入力 データ)	廃棄・リサイ クルステー ジ情報	製品の廃棄・ リサイクル条 件	1) 標準シナリオの設定 ・金属製:100%リサイクル扱いとする。(注1) ・樹脂製:使用済み製品をマテリアルリサイクルして再利用する場合は各社の 実態に応じて計上する(クローズドリサイクルの場合)。 尚それ以外は、産業廃棄物として別紙(注2)に基づき、計上する。 2) オープンリサイクル/リユースを含む場合は次の項目に注意して各社で妥当と判断 されるシナリオを設定して計上できる。なお設定根拠の妥当性は検証の 対象となる。 ①「間接影響」範囲とする工程 ②「間接影響」範囲内の控除・負荷
9	製品環境情 報 データシート (PEIDS)	インベントリ 分析	LCI計算式	特に規定しない。 オープンリサイクル/リユースを含む場合は間接影響と直接影響を分離して 計算し、このうち間接影響分を「リサイクル効果」として表現する。 PEIDS では間接影響の合計を「リサイクル効果」欄に記載する。
10		インパクト 評価	カテゴリ追加	インパクトカテゴリーの追加項目はなし。
11	内訳 データシート (製品デー タシート関連)	データ加工	アロケーション	製造段階でアロケーションが必要なプロセスがある場合は、全ての製品の量 または価格等に占める、対象製品の割合をもとに配分する。
12		データ収集	収集範囲	対象サイト、工程を収集範囲とする。 新製品・新設備等における製造の場合には、プロセスの設計値や計算値でも 可とするが、平常時の実績が得られ次第見直しする。
13			カットオフ ルール	部品等Aに属さないで、かつ製品質量に対して1%未満の原材料及び部品 組成物質についてはカットオフできる。 製品質量の0.1%未満の排出物についてはカットオフできる。 カットオフを適用した場合は、その内容を明確にしカットオフした旨を明記する。
14	内訳デー タシート (PEIDS 関 連) データベー ス	製品環境 情報 製品仕様 データ公開 内容	共通原単位 の選定	部材毎に適用するエコリーフ共通原単位とする。
15			原単位の追 加	なし
16			特性化係数 の追加	なし
17	製品環境情 報	製品仕様	—	呼び番号(伝動用チェーンとブシュチェーンのみ) 形式(ローラチェーン、ブシュチェーン) 引張強さ(最小又は平均)あるいは許容張力 形状・寸法(チェーンピッチ) 主要材質(主な構成材)
18		データ公開 内容	—	1) 必須記載項目 温暖化負荷、酸性化負荷、エネルギー消費量を記載する。 選択項目の記載は任意とする。 2) 表現方法 文章、表、グラフいずれの選択も自由とする。 3) オープンリサイクル/リユースを含む場合、ステージ毎の「リサイクル効果」は 実際に発生した負荷とは分離して点線で表示する。

	大項目	中項目	小項目	取り決め事項
19	その他環境情報	選択記載事項	—	<p>当該製品の環境特性に関する、第三者による事実確認が可能な下記の情報を記載できる。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) タイプⅠ または タイプⅢの環境ラベル 2) ISO14001 認証の取得 3) 国または工業会等の認証・認定・表彰 4) 有害物質使用状況 鉛・水銀・カドミウム・六価クロム・ポリ臭化ビフェニール (PBB)・ポリ臭化ジフェニールエーテル (PBDE) の6物質の使用の有無。 なお情報公開の対象部分が限定される場合にはそれを明示する。

(注1): (財)機械振興協会経済研究所(委託先: (財)クリーン・ジャパン・センター)の平成17年3月発行の「産業機械における環境配慮設計の現状と課題に係る調査研究」から
 工作機械・農業機械等の産業機械の素材は、ほとんどが鉄・非鉄の為、マテリアルリサイクルとして処理され、分解の難しい部分は、雑品として、中国他に輸出され、そこで、手選別で更に分解されマテリアルリサイクルされている と考えられる。
 このことより、本 PCR では 100%リサイクル扱いとする。

(注2): 樹脂の産業廃棄物処理内訳は(社)プラスチック処理促進協会によると次のような 2004 年度実績になっている。
 埋立て・・・・・・・・・・170万t(34. 3%)
 単純焼却・・・・・・・・・・16万t(3. 2%)
 再生(リサイクル)・・・309万t(62. 4%)
 樹脂製チェーンについてはこれを基に計上する。

PCRレビューの実施

レビュー実施日(制定)	2006/3/1
有効期限	2014/1/31
エコリーフ審議委員会	代表:内山 洋司 所属:筑波大学大学院

本 PCR の改訂等履歴

実施日	訂番	実施内容
2006/3/1	01	制定
2011/2/1		更新

製品分類別基準(PCR)制定規程(R-06)の改訂による PCR項目順の変更について

2008年5月1日の規程改訂により、製品分類別基準(PCR)の項目の順番が変更された。本PCRは規定改訂前に制定されたものであるため、以前の項目の順番としている。以下に、規程改訂前後のPCR項目の対応関係を示す。

<規定改訂前のPCR項目>

<規定改訂後のPCR項目>

No.	規定改訂前のPCR項目		No.	規定改訂後のPCR項目	関連様式
				【LCA調査の範囲の設定とラベル開示の内容】	
1	製品の定義	→	1	製品の定義	-
2	製品構成要素と評価単位	→	2	製品構成要素と評価単位	-
3	製品ライフサイクルステージ	→	3	製品ライフサイクルステージ	-
		}	4	製品の仕様	PEAD
			5	LCAデータの公開内容	PEAD
			6	新旧製品比較	PEAD
			7	その他エコデザイン関連情報	PEAD
				【システム領域およびデータ収集条件の設定】	
4	原料・部品の構成	→	8	製品の原料・部品構成	内訳DS(製品)、PDS
5	製造ステージにおけるデータ収集条件	→	9	製品製造ステージにおけるモデル化・データ区分等	内訳DS(製造サイト)、PDS
6	物流ステージにおけるデータ収集条件	→	10	物流ステージにおけるモデル化・データ区分等	内訳DS(物流)、PDS
7	使用ステージにおけるデータ収集条件	→	11	使用ステージにおけるモデル化・データ区分等	内訳DS(使用)、PDS
8	廃棄・リサイクルステージにおけるデータ収集条件	→	12	廃棄・リサイクルステージにおけるモデル化・データ区分等	内訳DS(廃棄・リサイクル)、PDS
9	LCI FGD/BGD データ収集/処理	}	13	カットオフルール	内訳DS(各ステージ)、PDS
10	LCIA インパクトカテゴリ		14	収集データの品質要件	内訳DS(各ステージ)、PDS
			15	収集データのアロケーション	内訳DS(各ステージ)、PDS
11	アロケーション	}		【インベントリ計算】	
12	データ収集範囲		16	LCI 計算の考え方	内訳DS(各ステージ)、PEIDS
13	カットオフルール		17	LCI 共通原単位の使用条件	内訳DS(各ステージ)、PEIDS
14	LCI BGD 近似代替	→		【ライフサイクル影響評価(特性化)】	
15	LCI BGD PCR原単位	→	18	LCIA インパクトカテゴリおよび特性化係数の追加	内訳DS(各ステージ)、PEIDS
16	LCIA BGD 特性化係数の追加	→			
17	製品の仕様	}			
18	LCAデータの公開内容				
19	その他環境関連情報				